

前回の経営委員会で継続審議とした事項

(既存計画にある「下水熱利用」の今後の方向性について)

地域環境の保全

前回の経緯

- 現行計画にある「創エネルギー」について、千葉県が、終末処理場の改築更新時に、汚泥から燃料を抽出し発電等に活用する検討を始めたこと及び、後期計画からは、柏市下水道事業会計で直接行う事業に絞る方針としたことから、当該事業全部を経営計画の施策から外すことを案として提示。
- これに対し「創エネルギー」のうち「管路等の下水熱利用」は、柏市の管理する管路において行うものであり、これを計画から外すことに異論があった。

現行の計画（該当部分）

施策	指標	前期目標	後期目標
創エネルギー (下水熱利用)	下水熱利用（管路等）の 実施	導入可能性検討 (広域ポテンシャル マップの作成)	実施の検討
	事業費	—	—

現状と課題

現計画には事業費が盛り込まれていない。よって、事業に必要な予算が担保されておらず、下水道事業全体の厳しい経営状況もあって、事業に着手できていない。



今後の方向

県事業として行う汚泥資源化、燃料化等は計画から削る一方、市が独自に行える可能性がある「管路等の下水熱利用」については、計画に残す。

施策の実現に必要な事業費を後期計画期間に計上する。その前提として経営体制を強化する必要があり、使用料の適正化を含め、経営の見直しを行う。

事業財源を確保した後、導入可能性検討を行う。事業化採算性を含め導入可能性があると判断された場合、別途実施の検討を行う。